

広報

ただみ

3

2010 月号

No. 478

平成22年3月10日



今月の表紙

雪まつりのイベント「スノーフラッグス」。子どもから大人まで、だれでも参加できる人気のゲーム。大雪像「水久保城」を背に1本のフラッグめがけ、雪上をダッシュ。運も必要なこの競技、さて最後にフラッグを手にしたのはだれ?【雪まつり特集2~7頁】

第38回只見ふるさとの雪まつり 2~7

農家民泊で子どもたちに感動体験.....	8~9
只見町民スキー大会.....	10~11
教育へのおもい・「学びの里・只見」の創造 他.....	12~15
町の話.....	16~17

冬の彩り ホットな心でおもてなし

第38回 只見ふるさとの雪まつり

町制施行50周年を記念した「第38回只見ふるさとの雪まつり」が、2月12日の大雪像ライトアップからスタートし、13日、14日の二日間、わたりJR只見駅前広場をメイン会場に行われました。

真冬の天候とは思えないほどの好天に恵まれ、青空が広がる日中と澄んだ星空が広がる夜に行われた雪まつりには、期間中21,000人の入場者が訪れ、只見の大イベントは最高の盛り上がりを見せました。

毎年、その圧倒的なスケールで入場者を驚かせる大雪像、今年姿を現したのは、只見町を代表する山城「水久保城」、戦国時代に伊達政宗も落せなかった難攻不落の山内氏勝の居城です。当時、実在した城とは異なる姿かもしれませんが、威風堂々とした城をイメージして作られました。高さ13メートル、幅30メートルの真っ白な水久保城は陽光に眩しく輝いていました。

雪の入場門「とら」は今年も(株)JPハイテック田子倉事業所が作製されました。門の前では団体客などが楽しそうに記念撮影していました。

駅前通りには只見小学校児童が作製された雪面の壁画が来場者を迎え、場内には夜になると幻想的な雰囲気を出すキャンドルロードをはじめ、交通安全協会の方々、そして朝日小学校、只見中学校、只見高校の児童生徒が作製された雪像の数々が入場者の目を引いていました。さらに、雪のトンネルやすべり台、かまくらにもチビツ子が集まり大人気でした。

また、訪れた皆さんを温かく迎えてくれる「ゆきんこ市」にも大勢の方々が集い、只見ならではの郷土料理を堪能したりゲームで遊んだりしながら、地元の方と触れ合っていました。恒例の地酒・甘酒のふるまいコーナーにも列ができ、只見町赤十字奉仕団によるなめこ汁サービスや、民芸品・つる細工展示即売コーナー、木の葉、只見町食生活改善推進委員会のコーナーの前にも家族連れなどが集い、ごく煮やニシン漬けなどの地元料理を味わっていました。

只見スキー場では、スノーモー

ビル体験やスノーシュー体験のイベントが行われ、雪と触れ合うスポーツの醍醐味を楽しもうと大勢の方が詰め掛けました。

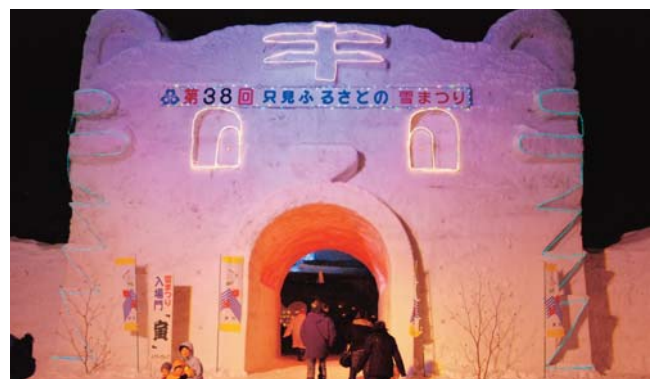
只見地区センターでも、只見音研ショーが開かれ、バンド演奏、舞踊、漫談、歌謡ショーなどが披露されるたびに、満員の場内には拍手や歓声が響いていました。

只見の豪雪を上手に利用し、長い奥会津の冬を町民みんなで明るく楽しく過ごすとうとスタートした雪まつりも38回を数え、東北でも最大級の雪まつりに成長しました。毎年、この一大イベントを成功させるためにご尽力いただいている皆様、そしてご協賛を賜りました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

雪まつりが終わると、只見にも春を感じさせるような日差しが多くなり、雪解けも早さを増します。暖かい春はもうすぐです。



▲ライトアップされた大雪像「水久保城」



▲雪の入場門「寅」



TADAMI snow festival



スノーフラッグス



総踊り



自衛隊音楽隊パレード



福餅まき



梁取太々神楽

▼13日(第1日)

午前9時45分、ふたりの雪むすめ(有田真弓さんと目黒由貴さん)が持つ「歓迎只見ふるさとの雪まつり」のプラカードを先頭にした、陸上自衛隊郡山駐屯地音楽隊パレードで、第38回只見ふるさとの雪まつりが幕を開けました。

開会式では、主催者を代表して目黒町長が「素朴な人情と冬文化に親しんでください。そして、夜の幻想的なライトアップと花火をぜひ楽しんでください」とあいさつをしました。

開会式終了後、福餅まきが行われ、梁取太々神楽で厄払いをした後、メインステージや会場中央の広場では様々なイベントや芸能発表、もとやまレース福島大会、雪中大神輿、厄男衆が裸で行う勇壮な厄払いの儀、おんべなどが行われました。最後は祈願花火が華やかに打ち上げられ、一日目が終了しました。



もとやまレース福島大会



厄払いの儀(厄男衆入場)



キャンドルナイト



雪中大みこし



おんべ



郷土芸能ステージ



力士のもちつき



おいしい甘酒



雪のすべり台

この日も晴天、ウルトラマンマックスショーに子どもの大歓声が響いた後は、小林早乙女踊り、小川早乙女踊りなどの芸能発表が行われました。午後は入間川部屋に所属する力士、「将司」、「暁司」、「恵那司」の3名がステージに登場、相撲甚句を披露され、餅つきや握手会で入場者と触れ合いました。また、場内の特設ゲレンデではスキー・スノーボードのパフォーマンスショーが、ステージではカラオケ大会、バンドコンサート、天領只見仙嶽太鼓などが行われ、会場内は、一日中にぎわいました。まつりの最後は祈願花火でフィナーレとなりました。

▼14日(第2日)



ジブショー



天領只見仙嶽太鼓



圏外バンドのコンサート

雪まつりを盛り上げていただいた 雪むすめからひとこと



有田 真弓さん

今回、初めての雪まつりで、雪むすめという大役を任されることになり、自分に果たせるのかとても心配でした。ですが、周りの方の適切な指示と、地域の方々や多くの来場者の皆様からの温かい励ましもあって、当日は雪むすめの業務を果たすことができました。

会場内では多くの人の笑顔を見ることができ、私も嬉しくなりました。只見町民として地域の人達と一体となり、只見のよさを多くの人に知り味わってほしいという想いのもと、この大きなイベントに関われたことは貴重な経験となり、忘れられない思い出となりました。

応援してくださった多くの皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



ようこそ雪まつりへ



目黒 由貴さん

今回、雪むすめをやらせていただいて私が思った率直な感想は『楽しい！嬉しい！』です。

まず、来場してくださったみなさんや、雪んこ市に出店してくださっていた方々に気さくに声をかけていただいたり、応援していただいたりと、嬉しいことばかりの充実した2日間を送ることができました。また、実行委員始め役場の方々、関係者の方にも本当に優しく支えていただき、この只見の大イベントをみんなで成功させた！という誇りと感謝の気持ちでいっぱいです。そして地元只見の素晴らしさを改めて実感できたこと、これからもっともっと只見を盛り上げて行きたい！という強い気持ちが芽生えたことが、雪むすめを務めた上でのによりよかったかな、と思っています。

寒さや恥ずかしさなど大変なこともありましたが、それも含めて良い思い出になり、それもこれもみなさんの暖かい支援のおかげだと感じています。本当にありがとうございました。



目黒 由貴さん



有田 真弓さん

雪まつり「ミニ雪像コンテスト」

石伏区雪像をつくる会

4年連続で最優秀賞を受賞

3月5日、只見地区センターで第38回只見ふるさとの雪まつり「ミニ雪像コンテスト」審査会が開かれ、最優秀賞に石伏区雪像をつくる会の「寅（エコにトライ）」が選ばれました。雪像をつくる会は4年連続の最優秀賞受賞となりました。応募総数は59点でした。

コンテスト参加作品は、次の日程で写真展示されます。

～展示日程～

- 3月5日～12日（只見地区センター）
- 3月15日～22日（朝日地区センター）
- 3月23日～30日（明和地区センター）

最優秀賞

「寅（エコにトライ）」

石伏区雪像をつくる会



◀ **グッドデザイン賞**
「防犯・交通安全
パトロール大使
ドラえもん」
交通安全協会

グッドテクニック賞▶
「ようこそ只見へ」
只見沖組&東邦銀行



◀ **グッドキャラクター賞**
「河井 継之助」
塩沢観光協会

グッドアイデア賞▶
「親と子」
渡部哲夫さん(福井)



◀ **朝日建設賞**
「蒲生巨大
雪だるま」
蒲生集落活性化委員会

優秀賞

「虎」

目黒彰一さん(只見田中)



に感動体験を！ 只見町の素晴らしさ



応援します 農家民泊

「農家民泊」（略して、農泊）

とは、農家に泊まり農業体験や自炊体験などの体験活動をすることをいいます。農家の方の普段の生活を体験してもらいます。食事は農家が提供するのではなく、子どもと一緒に作ります。

農家民泊に取り組むための具体的な手続きなどの支援（参加するには簡易宿所の許可が必要となります）、受入れの相談については、平成19年12月に発足した、只見町子ども農家体験協議会（只見町観光まちづくり協議会が事務局）が行っています。

只見町子ども農家体験協議会は、子ども農山漁村交流プロジェクトのみならず、中学生・高校生を含めた広い意味での持続性のある教育旅行を目指しています。農泊に関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

▼只見町子ども農家体験協議会

【只見町観光まちづくり協会】

☎ 0241-82-5250

「とても良い 想い出となった」 受入れ農家の声

東京都江戸川区上一色中学校の生徒、145名を農泊で受入れました。

受入農家数42軒、平成21年7月30日～31日に実施しました。受入れ農家の声を一部ご紹介いたします。



▼考えていたより楽しかった。とても素直で野菜も喜んで食べてくれました。学校のことや家庭のことなども話してくれました。自分の子どもが帰ってきたように楽しい民泊でした。お礼のものがきにもそば打ち体験など楽しかったと書いてあり、とても良い想い出ができました。時間があつというまでもう少し時間に余裕があればと思いました。

▼思っていた以上に子ども達が感動する様子を見て、私も感動させられた。小食と言っていた子ども達がたくさん食べるので驚いた。

▼農業体験にも興味や関心もあ

り様々な作業にすずんで取り組んでくれました。都会育ちの子ども達には、すべてがもの珍しく感動することばかりだったと思います。又、いつか来たいと感想を残して別れていきました。が、このあとも何か交流できることがあれば地域と都市の真のつながりができるのではないのでしょうか。

▼都会の子ども達にとって、有意義で貴重な体験だったと思います。受入れた私たちも満足げに「今度また来ます！」といった言葉の中にも感じます。田舎の人の心のあたたかさ、人のふれあい、これからの教育に必要であると強く感じました。



農家民泊で子どもたち 子どもたちを通してわかる

学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、力強い子どもの成長を支える教育活動として、小学校における農山漁村での長期体験活動を推進することを基本方針としています。数年後には、全国2万3千校（1学年120万人）の子どもたちが農家体験を行うことを目標としており、受入地域（モデル地域）に支援措置がなされています。現在全国にモデル地域は、先導型受入モデル地域が

子ども農山漁村交流プロジェクト事業 （総務省・文部科学省・農林水産省の3省一体）



16箇所、体制整備型受入モデル地域には74箇所が認定されています。只見町子ども農家体験協議会は平成21年度に体制整備型受入モデル地域に認定されており、国や県より支援を受けながら受入体制づくりを行っているところとです。福島県のモデル地域は、喜多方市・南会津町・福島市・只見町の4地域です。今後も更新手続きを行い、認定を継続していく予定です。

これからの 農泊予定

【平成22年度予定】

▼千葉県柏市高柳中学校
生徒数191名

6月2日（水）～3日（木）

▼千葉県野田市北部中学校
生徒数128名

6月24日（木）～25日（金）

▼東京都江戸川区立篠崎中学校
生徒数160名

7月23日（金）～24日（土）

▼新潟県内小学校
生徒数85名

9月1日（水）～2日（木）

【平成23年度予定】

▼千葉県市川市大洲中学校
生徒数101名

5月31日～6月2日（農家1泊・季の郷湯ら里1泊）

▼千葉県内中学校
生徒数200名

5月1日～2日

▼千葉県内中学校
生徒数210名

5月15日～16日

只見町には、現在の子ども達に必要とされる農家体験ができる農家が42軒、簡易宿所登録されております。子ども農家体験協議会では只今、登録農家を募集中です。

只見町子ども農家体験協議会

（敬称略）

会 長	新 国 秀 一	農家台帳登録民宿・旅館 代表 ゆの宿松屋
副 会 長	五十嵐 博 之	NPO法人 只見ぶなの木倶楽部
	菅 家 和 人	只見町旅館業組合 代表 ますや旅館
	長谷部 浩 司	会津ただみ振興公社
	斎 藤 政 信	森林の分校ふざわ
	目 黒 典 子	只見町観光まちづくり協会事務局
	山 内 清 示	只見町産業振興課長

ベストを尽くし競技に臨む選手に熱い声援



▲ クロスカントリー・リレー小学男子の部スタート

青空が広がった2月21日、絶好のコンディションのなか、只見スキー場で第48回町民スキー大会が行われ、町民257人が参加。練習の成果を発揮しました。

春の日差しとも思えるような雲ひとつない青空の下で、就学前の子どもから70歳代の方までの皆さんが参加して、元気いっぱいに冬のスポーツを楽しみました。

場内放送による開会式では、大会長の目黒長一郎只見町体育協会長が大会宣言を行い、続いて目黒町長があいさつを述べ、競技が開始されました。アルペン、クロスカントリーそれぞれに練習を積んだ選手がタイムを競い合いました。

距離競技小学校リレーでは、4年生から6年生が参加、各校とも毎日厳しい練習を行ってきた成果が表れました。特に、男女ともに明和小学校が優勝するという成績はすばらしいものでした。競技関係者も「年々技術が向上し上達している。練習の指導力もアップしている」と感想を話していました。成績は11ページのとおりで。



1 2 3



1 最年長「菅家亥三男さん」の華麗な滑り

2 クロスカントリー中学男子リレーで、快心の滑り

3 選手の頑張りをサポートする熱い声援





距離リレー小学女子の部優勝「明和小Aチーム」▼



▲ 距離リレー小学男子の部優勝「明和小Aチーム」



競技結果(敬称略)

大回転

▼未就学児の部

①山内浩希(梁取) 34秒57 ②渡部千春(福井) ③新国太陽(只見)

▼小学校

【男子1年の部】①吉津隼馬(朝日小) 1分10秒0 ②目黒拓海(只見小) ③小柴翔天(朝日小)

【女子1年の部】①目黒楓華(朝日小) 1分11秒66 ②新国理紗(只見小) ③鈴木美羽(只見小)

【男子2年の部】①齋藤結(朝日小) 1分3秒39 ②大竹力(明和小) ③五十嵐翔(朝日小)

【女子2年の部】①大澤萌(只見小) 1分6秒7 ②菅家夏芽(只見小) ③美馬由理(只見小)

【男子3年の部】①渡部賢太郎(朝日小) 51秒85 ②吉津遥(朝日小) ③根本匠(只見小)

【女子3年の部】①星鈴果(朝日小) 1分0秒95 ②鈴木菜美(只見小) ③吉津万尋(朝日小)

【男子4年の部】①目黒裕大(朝日小) 56秒3 ②鈴木道也(只見小) ③鈴木翔(只見小)

【女子4年の部】①梁取奈生(明和小) 1分8秒62 ②渡部帆七海(只見小)

【男子5年の部】①目黒翼(只見小) 1分4秒36 ②伊藤舜(朝日小) ③吉津悠真(朝日小)

【女子5年の部】①目黒百華(朝日小)

小) 1分14秒24 ②星一穂(朝日小)

③渡部瑠唯(朝日小)

【男子6年の部】①目黒大成(只見小) 56秒82 ②五十嵐圭祐(只見小) ③田中直人(只見小)

【女子6年の部】①五十嵐雪音(明和小) 1分12秒12 ②渡部早紀(朝日小) ③馬場彩香(只見小)

▼中学校

【男子の部】①馬場光弘(只見中) 1分1秒1 ②大澤宏汰(只見中) ③目黒健太(只見中)

▼一般

【女子2部】①山内希実子 1分8秒96 ②新国美紀

【女子3部】①三瓶節 1分8秒12 ②大竹やい

【男子1部】①鈴木達也 53秒57 ②目黒郷

【男子2部】①五十嵐利明 59秒72 ②三瓶正浩

【男子4部】①菅家玄三男 1分18秒46

▼仮装の部

【参加者】山内結(明和小)、三瓶梨菜(明和小)

スノーボード大回転

▼一般

【高校生一般男子の部】①吉津一博 41秒52 ②斎藤洋 ③鈴木僚

距離

▼小学校

【男子4年の部】①目黒悠(只見小) 7分55秒

【男子5年の部】①高田祥太(明和小) 5分20秒 ②梁取陸(明和小) ③高木竹徳(明和小)

【男子6年の部】①一条英昭(明和小) 4分40秒 ②五十嵐高弥(明和小) ③岩淵秀斗(朝日小)

【女子4年の部】①菊地美結(明和小) 14分11秒

【女子5年の部】①栗城涼花(明和小) 6分48秒 ②馬場楓(明和小)

【女子6年の部】①馬場晶子(明和小) 5分29秒 ②大竹羽未(明和小) ③星真穂(朝日小)

▼中学校

【男子の部・クラシカル】①小林祐太(只見中) 9分39秒 ②矢澤明宏(只見中) ③目黒公太郎(只見中)

【男子の部・フリー】①三瓶志門(只見中) 8分11秒 ②菅家将志(只見中) ③渡部晃大(只見中)

【女子の部】①藤田百生(只見中) 11分19秒 ②鈴木ひかり(只見中)

▼高校生一般の部

①川俣裕樹 5分26秒(小林)

距離リレー

▼小学校

【男子の部】①明和小A 21分46秒 ②朝日小A ③只見小A

【女子の部】①明和小A 25分13秒 ②朝日小A ③明和小B

▼中学校

【男子の部】①明和地区A 20分7秒 ②明和地区B ③朝日地区A

【女子の部】①只見地区 21分18秒

教育への おもい

「学びの里・只見」の創造



教育長 齋藤修一

昨年の12月1日付けで町教育長に就任いたしました齋藤修一と申します。微力ではありますが皆様方のご指導ご鞭撻をいただきながらふるさと只見のために教育行政に全力で取り組みたいと考えております。

まず、「開かれた教育行政」を推進していききたいと思います。残念なことです。教育委員会は何をしているか分からないという声も耳にします。教育行政を更に町民の方々の身近なものにしていかなければならないと感じております。そのために、定例教育委員会を随時各小中学校を巡回しながら実施する等、理解と協力を得られるようにしていきたいと思えます。また、町民の方々の教育への思いや願いが教育行政に届くシステムづくりもしていきたいと考えます。

第二には、町民の方々の信頼に応え得る学校づくりをしていきたいと考えております。そのために、保育所、小・中学校、只見高校との連携教育を推進し、基礎学力向上に努め、やがての就職や進学の見込みをしっかりとしたものにしていきたいと思えます。また、現代の子ども達は夢が無いとよくいわれますが、小・中学校でのキャリア教育を通して職業観の育成を図り、将

来の夢や目標の実現を支援していききたいと考えています。こうした只見ならではのいわば一貫教育の中で、自らの将来を自らの力で切り拓いていける自立した子どもを育てたいと思えます。現代の風潮は、ややもすると学校でも家庭でも失敗をしないように、つまづかないようにと手をかけすぎて子どもの自立の時期を失っていないか危惧しているところ。遠くで眼をかけるながらも不自由、不便、不親切の環境の中で育てることが本当の自立心の育成につながるのではないかと考えています。

第三には、生涯学習を通して町民の方々の生き甲斐づくりを支援していききたいと考えます。学ぶことは自分という人間が変わることといわれます。まさに、生涯学習は人生のあらゆる時期に自分に必要な学習を自らの意志で取り組み、自らの人間性に一層の磨きをかけ豊かな人生を創造することです。多くの町民の方々に生涯学習に取り組んでいただけるよう学習内容の吟味、学習の場の設定、情報の提供、団体の紹介等を行ったりしながら裾野を拡大していききたいと考えています。また、教育委員会として、30代から40代の中堅若手に政治、経済、文化、産業、地域作り等の視野の広い生涯学習

の機会を提供し、将来の只見町を支える人材を育成したいと考えています。また、スポーツを通じた健康づくりや町の貴重な文化財等への関心を喚起できるような学習の機会も提供していきたいと考えております。



▲ 只見小学校で開かれた臨時教育委員会

開かれた教育行政を目指して 只見小学校で臨時教育委員会開催



開かれた教育行政を目指してをテーマに、3月5日、只見小学校で臨時教育委員会が開かれました。この臨時会は、まず児童生徒の保護者に、教育委員及び教育委員会の役割について知ってもらい、教育行政への関心を高めていただくことを目的に行われ、保護者や先生40名が傍聴しました。

会議は二部構成で行われ、第一部では、開かれた教育行政を推進するためにはどうすればよいのか話し合わせ、課題として「教育委員会改革」、「目標の明確な教育行政の推進」、「町民の教育行政への参画」の3点が示されました。

教育委員長を中心に活発な協議がなされ、各委員からは、「学校（先生）や保護者とのコミュニケーションが必要だが、時間が取れないのが現状、教育委員会で調整を図り意見交換の場を設けてほしい」、「教育委員について保護者にもっとPRが必要」、「教育委員は教育全般にかかる相談役になつて保護者などからいつでも意見や要望を聞き取れる体制作りが必要」、「町長との懇談も実施したい」、「自分の目標に向かって進める子どもの育成をしていきたい」、「家庭教育を充実させられる環境を整える」、「定例会も傍聴が可能、もっとオープンに町民が教

育行政に触れられる体制作りが必要」などの意見が出されました。

第二部では、只見町小中学校教育への願いと題し、各委員より保護者へ意見や提案の発表が行われました。その内容は、「なぜ勉強が必要なのか、子どもにしっかりと話をするのが大事」、「小学校時代に経験する感動や感激は成長する過程において影響が大きいので、一緒に感動してください。そして夢を持たせてください」など、委員自らの経験に伴う貴重なものでした。その後、教育委員と保護者とのフリートーキングが行われ、保護者からは、町内の児童生徒に対して均衡の取れた教育環境の充実を願う要望などが出されました。

最後に、教育長のまとめとして、「自分の夢を明確に持つて進める子どもの育成」、「家庭教育の基本について浸透を図り、教育委員会としての支援対策にも今後、取り組んでいく」と述べました。

開かれた教育行政を目指す試みとして行われたこのような教育委員会は、今後各小中学校を巡回し行われる予定ですので、ぜひ参加され、教育委員と意見や情報を交換されてみてはいかがでしょうか。

目指す目標に向け新たなスタート 福島県立只見高等学校卒業証書授与式



▲ 卒業証書を受け取る飯塚洋行さん

春の訪れが待ち遠しい3月1日、平成21年度第46回卒業証書授与式が只見高等学校格技場で行われ、鈴木健司只見高等学校長から、卒業生代表の飯塚洋行さんに46名の卒業証書が手渡されました。

鈴木学校長は式辞で「継続は力なり、志や願いを持った現実に向け努力を続けることが大切。夢や希望、冒険心を持ち挑戦する気持ちを忘れずに頑張ること。堂々とした人生を歩まれることを祈念します」と述べました。

続いて目黒町長は「この学校で学んだ三年間は皆さんの財産。自らが蓄えてきた力を発揮し、向上心を持ってこれからの人生を歩んでほしい。自立した社会人になって活躍ください」と祝



▲ 思い出を胸に涙ぐむ卒業生

辞を述べました。

在校生代表送辞で、山内麻椰さんは「先輩達との学校生活は掛け替えのない宝物です。伝統を引き継ぎ、すばらしい学校を築かれたので私たちも頑張ります。これからも只見高校の卒業生としての誇りを胸に皆さんも頑張つて困難に立ち向かっていってください」と述べました。

また、卒業生代表答辞で、五十嵐春喜さんは「父や母の苦勞を少しでも減らせるよう頑張ります。三年間の喜び、怒り、悲しみ、楽しみ、すべてが最高の思い出です。お世話になった方がたに心から感謝します。ありがとうございました」と述べました。

卒業生の皆さん、おめでとうございます。

続いて、齋藤修一教育長が「目標から逃げないこと。人生は常に自分との戦いです。頑張ってください」とあいさつを述べました。

3月1日に卒業式を迎える3名の留学生からは「ここでの生活で自分のあまかった部分を克服できました」、「寮生活で学んだことをこれからも活かしていきたい」、「親に頼っていたことができるようになった。ここで生活できて本当に良かった」などと三年間を思い起こし、あいさつをしました。

目黒町長からは、留学生一人ひとりに記念品が贈られ、送別

目標に向かって新たな第一歩 只見町山村教育留学生第6期生送別式

の意を表しました。

送別式には、只見高等学校からも鈴木健司学校長、星栄一教頭、目黒孝巳PTA会長、矢沢明伸雪椿会長、菅家二千六同窓会長が出席。センターを管理する鈴木慎介NPO法人ゆいネット只見理事長も出席され、留学生を激励しました。



▲ 奥会津学習センターを巣立つ3名の留学生

小学校外国語活動の充実を目指し・・・

小学校外国語活動中核教員研修

福島県教育委員会と只見町教育委員会の主催により、2月15日に朝日小学校で、小学校外国語活動中核教員研修が行われ、町内及び南会津域内の小学校教諭など22名が参加しました。

この研修は小学校における

外国語活動の円滑な導入と、教員の指導力向上を図ることなどを目的に、外国語教育アドバイザーの片山知子さんを指導者に迎え、行われました。はじめに、6年生を対象としたモデル授業では、日本語を使わない授業による歌やジェスチャーでの身近な英語表現に親しむこと、ゲームを通



▲片山知子さんの外国語授業

して友だちとのコミュニケーションを図ることなどを目標に授業が展開され、指導者の片山さんによる笑顔での英語表現と巧みなジェスチャーに児童も引き込まれ、楽しく和やかな雰囲気の中で英語に触れていました。

その後、参加教員による研究会と講義や演習が行われ、子ども同士で簡単な英語のやり取りをさせること、子どもたちを活躍させられる授業を組み立てることなどの話しがあり、指導方法について片山さんの英語によるゲームなども実習されました。



▲参加教員による研究会

よこそ先輩！

只見高校生に学ぶ会

1月29日に、只見中学校で只見高校生に学ぶ会が行われました。

これは、全校生徒を対象に総合的な学習の一環で行われ、今年度で只見高等学校を卒業される生徒3名が只見中学校を訪れ、講話されました。

訪れた高校3年生の先輩は、就職が内定している「佐藤亮人さん」、国公立大学に合格した「小林克弥さん」、専門学校に進学する「渡部鍊さん」の3名で

す。先輩からは、厳しい就職活動や大変な受験勉強などの経験談をはじめ、経験から身につけた知識や能力、忍耐力の重要性について教訓を講話しました。

只見中学校の生徒は、近い将来自分も経験することとなる岐路を意識し、先輩の話を真剣な面持ちで聞き入っていました。夢や目標に向かって努力すること、勉強や部活動を一生懸命続けることの大切さについて改めて考えていました。将来の自



▲只見中学校を訪れた只見高校生

分にとって今の中学校生活がどれほど重要で貴重な時間なのか実感することができた有意義な講話でした。

只見町観光まちづくり協会

一般社団法人化第2回発起人会



▲あいさつをする目黒町長

2月17日に、只見町商工会館で只見町観光まちづくり協会の一般社団法人化に伴う第2回発起人会が行われ、関係者8名が出席しました。

はじめに目黒町長があいさつで「法人化の実現に向け、詰めめの協議をお願いします」と述べた後、定款の作成内容の確認と基金の申し込み状況などについて協議が行われ、定款は作成案のとおり承認されました。

今後のスケジュールとしては3月下旬に同協会の臨時総会が、4月上旬には同協会の定時社員総会が開かれ、新年

度より一般社団法人只見町観光まちづくり協会が営業を開始する予定です。

法人化されると、社会的認知度が上がり、新たな収益事業に取り組めます。さらに第2種旅行業者として各種ツアー観光の商品企画や販売が可能となり、只見からの国内旅行プランの提案など様々なニーズに対応することができま

す。同協会の一般社団法人化により地域の活性化、振興がさらに飛躍することを期待いたします。

雪 奥会津雪フェスタin只見 は友だち！楽しく遊ぼう！



▲ 雪にかくれたカラーボールを探す宝探し

3月6日・7日、只見スキー場で只見川電源流域振興協議会の主催による歳時記の郷「奥会津雪フェスタin只見」が行われ、二日間とも大勢の参加者でにぎわいました。会場内ではパーソナリティが愉快的トークでイベントを盛り上げるなか、ビンゴゲームや綱引き大会、雪の上を走って旗を取り合うスノーフラッグなどが行われ、家族みんなで楽しめる催しに参加者は大満足の様子でした。雪像コンテストではオリジナルの雪だるまをみんなで作りました。



▲ すまし顔のお内裏様とおひな様（只見保育所）

お ひなまつり誕生会 内裏様とおひな様になって楽しく祝う

3月3日、只見・朝日・明和の各保育所では、ひなまつり誕生会が行われました。只見保育所では、ホールに雛人形が飾られ、ひなまつりの歌が流れるなか、3月生まれのお友だちをみんなで祝いし、続いて、ひなまつりの由来を聞いたり歌を歌ったり、ひな壇飾りの前で記念撮影をしたりと楽しくお祝いしました。最後におひな様を見ながらおいしいお昼を食べました。



▲ 本気モードの雪上綱引き大会

真 ひなまつり弁当 心が込められた手作りのおいしさを…

只見町食生活改善推進員会では、毎年、3月3日のひな祭りに70歳以上の一人暮らしの方を対象に「ひなまつり弁当」をお届けする、只見町社会福祉協議会の事業に協力しています。今年も23名の推進員会の方々が調理を行い、一品一品真心込めて手作りました。作りたての温かいお弁当は、民生児童委員の皆さんが208人の方々に届けられました。このお弁当を手にした一人暮らしの方は、ひな祭りのひとときを楽しく過ごされたことでしょう。



▲ 心温まるお弁当を作られた推進員会の方々

国 建設技術調査研究成果発表会 道252号六十里峠を利用し交流人口拡大を

3月2日に只見地区センターで建設技術調査研究成果発表会が行われ、福島県南会津建設事務所職員及び新潟県魚沼地域振興局地域整備部職員と魚沼市観光協会職員が只見町の交流人口拡大を図るための調査研究を行った成果を発表しました。そのなかで残雪の田子倉を見せる観光事業の創出、六十里峠のビュースポットや駐車帯の整備、冬期通行止め早期解除による再開通日の固定化など、様々な調査結果からの提案や課題が示されました。



▲ 発表会には観光事業関係者ら約35名が参加

ホ 科学の実験教室2009 ホバークラフトを作って空気の力を学ぼう！

3月6日、只見地区センターでNPO法人「鐵の学校」の皆さんのご協力により科学の実験教室2009が行われました。今回は、空気の力を利用して進む「ホバークラフトを作る！」がテーマで、町内の小中学生と一般の方など18名が参加しました。使うものは、ビニール袋や紙皿・市販のモーターなど簡単なものですが、空気の調整など微妙な感覚で動きが変わることに参加者は苦勞していました。



▲ 完成したホバークラフトの動きを確認する参加者



▲ 離乳食の食べ具合を見るお母さん

赤 すくすく教室 ちゃんの食事について情報交換

2月23日に保健福祉センターで、すくすく教室が開かれ、7名のお母さんが赤ちゃんと一緒に参加しました。今回は、月齢別に食べられる離乳食の作り方や食べさせ方などの指導を受けました。メニューは、さつまいもの白和えやじゃがいものお焼きなどで、実際に試食をしながら赤ちゃんにも食べさせ、その様子を見ながら情報交換をしました。特にアレルギーに関する質問が多くあり、対処方法などを熱心に確認していました。

い 元気で現役健康教室 いつものご飯から食事を工夫しよう



▲ 栄養バランスの良い昼食を摂る参加者

2月24日に保健福祉センターで、元気で現役健康教室が開かれ、12名が参加されました。参加者は、自分の標準体重を計算で求め、そこから1日に必要なたんぱく質や塩分の摂取量を確認し、早見表で実際の食生活ではどの程度摂っているのか把握、その量の違いを改善するための食事などについて説明を受けました。標準値よりも多めに摂取していそうという参加者からは「健康のために食事も少しずつ調整していきたい」などの感想が聞かれました。



ヴィッキーの にっぽん紀行

Vol.15

Victoria・Potter

ウィクトリア・ポッター

・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。

・2008年8月から町英語指導助手。



「こんにちはみなさん」

現在の私は、イギリスでのクリスマス休暇から日本に戻って日本の冬を楽しんでいます。先週は国見町の友人と日光に行ってきました。私は昨年の4月にも日本にきた両親を連れて訪れたことがあります。しかし雪に覆われた日光も訪れたいと思っていました。日光の神社はとてもカラフルで雪に映えると思っていました。また、この冬私は南会津のALT達と南郷スキー場にスノーボードをしに行ったり、只見の雪祭りにも行ってきました。

土曜日の朝、田島、檜枝岐、国見のALTと只見の雪祭りに向かいました。みんなで熊汁に挑戦してみました。私たちの国では普段、熊を食べることはないので、このときを待ち望んでいました。イギリスには熊がないため、ほとんどのイギリス人は熊を食べる機会がありません。雪祭りの数々の雪像にも感動しました。背景の山と共に見るメインステージは見事でした。また、各学校の生徒達が作った雪像も立派でした。生徒にはたくさん能力があります。生徒達の作った雪像を見て改めて思う思いました。

雪祭りの時、南会津のALT

全員がステーク祭りのために湯ら里に集合しました。私は残念ながら昨年よりも3枚少なく、10枚で終わってしまいました(泣)

檜枝岐のマイクと田島のクレイグは共に17枚も食べていました！皆さんは挑戦してみましたか？

私はこの冬たくさんスノーボードに行きました。行くとびに上達し、楽しさも増してきました。私はたいていコースの長いアルツ磐梯に行っています。しかし南郷スキー場も近くて、練習の時間が確保できるので気に入っています。ここ2週間ほどは県内からALTの友人を招待し、南郷スキー場へ行ってきました。彼らはボードパークで跳んだり、はねたり、回ったりしていました。私にはまだそこまでの勇氣はありませんでしたが、次に彼らが来たとき小さなジャンプ台に挑戦しようと思います。

もうすぐ只見中学校の3年生は卒業となります。彼らの高校入試が良い結果になるよう祈っています。また、彼らの将来と人生にもご多幸をお祈り申し上げます。その後また、新1年生を迎えることとなります。新しく中学生になれる皆さん、元気な皆さんの姿をお待ちしています。

（訳・只見中・平野）

広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 高柳宏史

「睡眠」

こんにちは、朝日診療所の高柳です。只見に来てもうすぐ1年になります。1年間を振り返ってみて思うことは、「本当に雪がすごい」の一言につきます。初めて見る大雪、道路の両側にそびえる雪壁は、雪がほとんど降らない熊本育ちの僕にとっては大きな驚きでした。なんとか周囲の人に支えられて1年を乗り越えられましたが、来年はさらに只見を楽しみながら過ごせたらいいと思います。

さて、今年度最後の話ですが、よくある健康問題である不眠症について話をしたいと思います。成人においては3人に1人が経験するというほど不眠症はよくある健康問題の一つです。外来診療において「夜眠れません」と相談される患者さんがよく来院されるのですが、「安定剤」または「睡眠薬」が欲しいと率直に言われてくる方が医師になってからよくよく耳にしてきました。これは只見だけではなく今まで診療してきた郡山、会津若松、三春、猪苗代でも同じです。

忙しい外来ではどうしてもうまく指導することができずに、やはり薬を出してしまいがちです。しかし、特に60歳以上の方についてはお薬で眠るというのはお勧めできないことではあります。睡眠薬の害について、何か聞いたことは

ありますか？ある60歳以上の人を対象にした研究において、体がだるい、日中の眠気、頭痛、悪夢、吐き気、胃腸の不調などは6人に1人で報告され、記憶障害や認知機能障害などや、めまいや転倒といったものは22人から23人に1人で見られたとの事です。

では、どうすれば良好な睡眠をとることができるのでしょうか？今日は睡眠薬、安定剤以外で良好な睡眠をとるための5カ条を提示したいと思います。第1条、「日中に眠気がないなら大丈夫！」というのも、季節や年齢によって睡眠時間は変化することがわかっています。いつもよりも睡眠時間が短くても日中に眠気がなければ問題ありません。第2条、「眠くなったら寢床に入りましょう！そして、寝るときだけ寢床に入りましょう！」。第3条、「寝る前のカフェイン、アルコールは避けましょう！」。第4条、「昼寝は20分から30分にしましょう！」。第5条、「毎日同じ時間に起床し、日光をあびましょう！」

長期に睡眠薬を使用している方が、薬を急に中断すると反跳性不眠という状況になり眠れなくなります。睡眠薬をやめるためには、まずは患者さん自身が睡眠衛生を整え、ちゃんと睡眠がとれるという自信が不可欠です。もし、睡眠薬をやめたいとお考えならば外来で御相談ください。

町史

とっておきの話

188

森林総合研究所

田中 浩

只見のブナ林と阿武隈のブナ林

小川試験地のブナ林、只見のブナ林とは
ずいぶん違った相観です。



私たちの研究グループは、福島県の一帯東に南北に広がる阿武隈山地の最南端、茨城県北茨城市関本町にある小川という集落の周辺（以下、小川試験地と呼びます）で、ずっとブナ林とその周辺の森林の生物についての研究を進めてきました。今回只見地域で植物や昆虫の調査をするにあたって、小川試験地と只見町という二つの地域の森林景観、そしてこれまでの人々の生活との関わり

越後山脈側の只見地域と比べ、冬の間の降雪量ははるかに少なく、とても乾燥します。阿武隈山地では、原生的なブナ林はほとんど残されていません。原生的な状態を維持した「奥山」のブナ林が豊富に残された只見地域との大きな違いです。地形が緩やかで積雪の少ない阿武隈山地では、当然のことながら、只見町で見られる独特な雪食地や雪崩植生は見られませんし、大きなトチノキやサワグルミで構成される発達した山地溪畔林もほとんど見られません。そして、小川試験地周辺の森林には、人の手が加えられた長い歴史があり、原生的と考えられるブナ林にも過去の人間活動（とくに火入れに起因した山火事と放牧）の影響が色濃く見られます。

わずかに残された小川試験地のブナ林（小川群落保護林、福島県側は朝日山ブナ林）には、只見町で見られるブナ林とは大きな違いがあります。只見町のブナ林では、美しい白い木肌に蘚苔類の濃い色がアクセントを散らしたブナの木たちが圧倒的に優占しています。もちろん、イタヤカエデやホオノキ・ミズナラ・トチノキといった他の広葉樹も混じりますが、ブナが圧倒的に多いことで、独特の美しい景観を生んでいます。一方、小川試験地のブナ林では、ブナの他にもう一種類のブナ属の樹木、イヌブナ（灰色の木肌で株立ちする）の他にコナラ・ミズナラが優占しており、シデ類やカエデ類、サクラ類など非常に多くの種類の広葉樹が混じり合っており、たいへん多様な、ある意味「里山林」的な景観となっています。



只見町の里山林。利用されず壮齢になったコナラ林です。真ん中に見えるプラスチックの容器は、昆虫トラップ、その隣は、ハチを捕える竹筒トラップです。

いる草地や焼き畑の農地も広葉樹二次林の中に存在していたことは、年配の方々の記憶にも鮮やかなおとります。しかし、現在、只見町の多くの里山林は人々の生活との結びつきを弱めつつあります。小川試験地での研究から、長い人間活動の影響の下で形成されてきた日本の森林景観の中では、森林伐採によって作り出される草地的な環境を好む森林の生き物たちも多いこと、逆に原生的な安定した森林環境を必要とする生き物たちもあることなどがわかってきました。只見町での研究から、また新しい発見があることを期待しています。



町民文芸

只見短歌会

一月詠草

大塚栄一

指導

古川 英子

若き等が俵引き合ふわが町の初市吹雪けばテレビにて見る

目黒 富子

孫子らの帰りし後は風船の温き空気が抜けゆく如し

吉津 政枝

家を空け子ら住む街で暮す友賀状で生家に思ひ馳せをり

皆川 恒子

電話機のベル鳴り続き焦れども強張る如く体動かず

五十嵐英子

月例に出せるわが歌採られしと姪は施設に持ち来てくれぬ

五十嵐夏美

凍てし朝新聞抱ふる知恵遅き子に滑るなを繰り返し言ふ

渡部ゆき子

雪落つる音を聞きつつ臥所にて茅葺き屋根の頃を思ひぬ

馬場 八智

体力は気力だけでは補へず八十路の我に大雪厳し

齊藤ちひろ

手をとって共に歩みし夫婦道六十年はただ夢のごと

渡部ヨリ子

老眼鏡かけてパソコンに向ふ我自筆の手紙の漢字浮かばず

新国 洋子

正月に作りしあられの餅揚げて施設の姉の面会にゆく

只見俳句会

二月例会

目黒十一

指導

一 灯

二階よりギター聞こえて冬休

恒 夫

武勇伝一気読みして春炬燵

又 壺 歩

雪搔くや笛吹き薬缶鳴りやまず

妻に蹴き坂ゆつくりと冬の月

新聞のとどこかぬ朝の猛吹雪

邦 男

櫛形の月真白に寒の朝

吉 児

お供えの影に隠れて嫁が君

隆 堂

太陽の光はじきて除雪道

邦 夫

曾孫の写真見つ声聞く初笑

深 雪 晴

竹折れる静けき音や夜半の雪

笑 羊

チャイム鳴り朝日まぶしき深雪晴

康 女

閃光やしぶき氷を研ぎすます

我を忘れ一時見入るどんどの火

豪雪の只見や今日も降りつづく

乳飲み児の泣き声高く年明け

我を案じメールのとどこく寒夜かな

貯蔵庫の野菜小出しに冬真中

厄流し来て餅花に迎えらる

玄関に声やいつしか小雪にて

便りなく電話も鳴らず冬満月

雪激し分教場の歌留多取り

深雪晴窓の向こうにじょうびたき

月光の降る曲屋の大氷柱

冬日入る人影を見ぬ寺の庭

朝の気の張りつめており壺の梅

開け開ての襖に匂う壺の梅

大寒や今朝も六時の寺の鐘

区会終え爛酒高く乾杯す

修 一

礼

郁 子

敦 子

洋 子

穂 都

一 穂

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
	☎84-2101
こぶし苑	☎84-7005
保健福祉センター	☎82-2141
只見地区センター	☎84-2111
朝日地区センター	☎86-2111
明和地区センター	

募集

西部環境衛生組合 臨時職員

臨時技能員を次により募集します。

- 一 雇用職種 臨時技能員
- 二 雇用予定人員 若干名
- 三 応募資格

①日本国籍を有する者で、南会津町・館岩地域、伊南地域、南郷地域・只見町に住所を有する者。

②地方公務員法第16条（欠格事項）に該当しない者。

③年齢資格等
平成22年4月1日現在、満60歳未満の者。学歴は問いません。

四 勤務・待遇

- ①勤務地 西部環境衛生組合
- ②待遇 組合規則による。

五

雇用の方法

- ①書類審査及び面接を実施のうえ、雇用予定者に通知いたします。
- ②面接日時・場所については、応募者に直接連絡します。

六

応募手続及び期間

- ①応募手続
市販の履歴書に写真を貼り、必要事項を記入のうえ、西部環境衛生組合に提出してください。
- ②応募期間
平成22年3月19（金）まで（執務時間中に限ります。）
郵便による申込みの場合は3月18日（木）までの消印のあるものに限り受け付けます。

問い合わせ

〒967-10611
南会津郡南会津町山口字下荒

只見町消防団員

只見町消防団では、町民の安全・安心を守る消防団員を募集しています。年令要件等は次のとおりとなります。希望される方は、ご連絡ください。

●要件等（男女不問）

平成22年4月1日現在で満18歳以上58歳未満の方

●待遇

▽只見町消防団条例の規定により出動手当及び年報酬を支給

▽5年以上活動された団員には退職時に退職報償金を支給

▽公務災害補償や福祉共済制度などの補償制度あり

●活動内容

災害時は、被災者の救護や現

税 今月の納期

3月25日までに納めましょう
●農集排使用料（3月分）

地本部の後方支援などを行います。災害現場での放水やポンプ操作などは一切行いません。

●待遇等詳細については、一般消防団員と同様となります。

●短期間の体験入団等も可能ですので、ぜひお気軽にご相談ください。

▽問い合わせ

町民生活課町民班
☎0241-82-5100

女性消防団員

只見町消防団では、応急手当活動などを行なう女性消防団員を募集しています。入団を希望される方並びに興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

●女性消防団員が増えると、皆で相談・検討した独自の活動を実施できます。その他、各種消防団行事に出動していただきます。



平成22年度電気通信 サービスモニター

総務省では、電気通信サービスを安心・快適にご利用いただけるよう、利用者の視点に立った情報通信行政の推進に取り組んでおります。東北総合通信局は、平成22年度電気通信サービスモニターを次により募集します。

●応募資格

電話・インターネット等の電気通信サービスに関心がある満20歳以上の方で、2の「モニター」をお願いすることにご協力いただける方。

- ①総務省が実施するアンケート（年2回実施予定）への回答（モニター全員）
- ②各地域で開催するモニター会議への出席（別途出席をお願いする方のみ）

●委嘱期間

平成22年6月1日～

平成23年3月31日まで

●募集人員

120名

●募集期間

平成22年3月1日（月）～

4月2日（金）まで（当日の消印有効）

●応募方法

応募される方は、はがきの表

面又はファックス送信用紙に「モニター希望」と明記の上、裏面に郵便番号・住所、氏名（フリガナ）、電話番号、年齢、性別、職業、メールアドレス（携帯電話のメールアドレスを除く。任意）、応募の動機及びモニター会議参加希望の有無（モニター会議は10月から12月までの間の平日に開催予定）等の必要項目を記入し、東北総合通信局あてお送りください。（締切り当日のファックス送信又は消印有効）なお、はがき・ファックス以外での応募はご遠慮ください。

●選考及び選考結果の通知

モニターをお願いする方には、平成22年5月末日までに、本人宛委嘱状の送付と併せて通知いたします。なお、選考されなかった方には通知いたしませんので、ご了承ください。



問い合わせ

〒980-0879

仙台市青葉区本町3-2-23

総務省 東北総合通信局

電気通信事業課

TEL 022-222-1106

FAX 022-222-1106



自動車をお持ちの方へ

自動車の登録状況を確認してみましょう！

毎年自動車税の納付時期になると、県民の皆さんから次のようなお問い合わせを多数いただきます。

Q 「手放した自動車の納税通知書が届きました。なぜでしょうか？」

A 自動車税は、4月1日（午前零時）現在の登録名義人である所有者（割賦販売等で所有権が留保されている場合は使用者）に課税されます。そのため、移転の登録や抹消の登録が行われていないと、もとの所有者に課税されることになります。自動車を下取りに出したり、他人に譲ったときには、必ず移転または抹消の手続きをしましょう。

Q 「住所が変わって、住民票は移したのに自動車税納税通知書が来ません。どうしてでしょうか？」

A 自動車税の納税通知書は、運輸支局に登録されている住所（自動車検査証に記載されている住所）に送っています。住所が変わったときには、必ず運輸支局で変更登録の手続きをしましょう。

Q 「車検切れとなり、使用していない自動車にも、自動車税は課税されますか？」

A 車検切れの自動車であっても、自動車としての機能を失っていない限り自動車税が課税されます。壊れて動かなくなったり、使用しなくなった車は運輸支局で抹消の手続きをしましょう。抹消の手続きをすれば、翌月から課税されなくなります。すでに年税額を納めている場合には、抹消した翌月以降の税金は還付されます。

■ 車を売ったとき、車の使用をやめたとき、住所を変更したときなどは、管轄の運輸支局で登録変更等の手続きをしましょう。手続きを忘れずと使用していない車に税金が課されるなどトラブルの原因ともなります。登録がお済みでない方は、忘れずに手続きしましょう。また、登録手続を依頼した場合は、登録が済んでいることを確認しましょう。



福島県南会津地方振興局県税部
電話 0241-62-5212
0241-62-5214

町 長 室 日 誌

〈 2 月 分 〉

- 1日 会津ただみ振興公社取締役会、玉川村長他来庁
- 2日 議会全員協議会、地域活性化委員会「甲子道路開通から1年間と今後」
- 6日 三瓶藤助氏大日本農会緑白綬有功章受章祝賀会
- 7日 佐藤雄平知事を励ます会
- 8日 第4回只見川電源流域振興計画策定委員会
- 9日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、南会津地方土地開発公社理事会、会津高原ふるさと推進協議会理事会、南会津地方町村会総会
- 10日 12月定例議会2月会議、南会津建設事務所長来庁
- 11日 当初予算町長査定
- 12日 松枝岐村長と面談、電源開発(株)東日本支店長他来庁、柏市市民生活部長他来庁
- 13日 第38回只見ふるさとの雪まつり開会、柏市永楽台地域ふるさと協議会一行来庁
- 15日 只見・朝日・明和地区センターまちづくり推進員との話し合い
- 16日 湯ら里役員会、介護給付国庫負担金関係会計実地検査
- 17日 観光まちづくり協会一般社団法人化第2回発起人会、只見高等学校振興対策会議第2回総会
- 19日 福島県土地連南会津支部総会、南会津地方広域市町村圏組合議会第1回定例会
- 21日 只見町民スキー大会
- 22日 農業集落排水事業運営審議会会長来庁、南会津地方町村会及び同議長会懇談会
- 23日 福島県町村会定期総会、福島県国民健康保険団体連合会通常総会、町政懇談会
- 24日 町政懇談会
- 25日 福島県庁出張、町政懇談会
- 26日 西部環境衛生組合管理者会、同議会定例会、同全員協議会、只見町山村教育留学生第6期生送別会
- 28日 目黒紘氏瑞宝単光章受章記念祝賀会

町民の消息

(2月1日～2月28日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

星 柚子葉 (ゆずは)
(女/圭・友美) 二軒在家

■ご結婚おめでとうございます

栃木県 只見
中 田 稔 ♥ 赤 塚 文 英

■おくやみ申し上げます

梁 取 進	84	坂 田
五十嵐 治 助	83	八木沢
吉 田 セ ツ	85	只 見
岩 渕 喜 重	77	塩 沢
渡 部 マ サ コ	95	福 井
渡 部 貞 夫	74	小 川
山 内 徳 佐	88	梁 取
三 瓶 満	57	大 倉

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成22年2月1日現在

人 口	5, 0 1 9	(- 5)
男	2, 3 8 8	(- 6)
女	2, 6 3 1	(+ 1)
世帯数	1, 8 9 7	(- 4)
高齢化率	4 1 . 4 %	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 1 転出 3 出生 1 死亡 4

▽天候に大きく左右されるイベントですが、最高の天気にも恵まれ、最高の雪まつりが開催されました。これも50周年の力なのでしょう。会場内には訪れた皆さんの笑顔がそこかしこで見られ、雪像も眩しいくらいに輝き、夜の火花も絶好のコンディションで打ち上げられました。改めて只見の雪まつりの大きさを実感しました。▽厳粛ななか行われた只見高校の卒業式では46名が学び舎をあとにしました。同校の進路決定率は100%、志を見失うことなく邁進してください。

あとがき

町民憲章

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★ねらわれた星



星新一／著 (理論社)

SF短編の名手、星新一の1000以上もの話の中から、厳選された19編の物語。酒を飲むロボット、台風の後町に突然できた大きな穴、ライバルと差をつけたい少女のもとにきた妖精など、ユニークな発想から、環境問題や嫉妬心を取り上げている。どの話も10ページ前後と読みやすく、ハッとさせられる名作ぞろい。

★びんぼう神様さま



高草洋子／著 (地湧社)

松吉の家にびんぼう神が住みつき、家はみるみる貧しくなっていく。しかし、松吉は神棚を作ってびんぼう神を拝みはじめた。「どうして人を貧乏にしかできないわしを拝むんじや？」

びんぼう神は自分がどうして神と呼ばれるのか、疑問を持ち始め……。人のためにできることを探すびんぼう神の姿にとても感動します。

★その他、MAJORの新作やテレビで紹介された本など多数揃えています。どんどん借りに来てください。

雪わたり



※この広報紙は再生紙を使用しています

雪も落ち着き、春が近づく3月、楽しみなのが「雪わたり」。残雪の野山を自由気ままに歩きまわる。やぶや茂みは雪のした、障害物のない雪の上なら好きな所に行ける。見たことのない景色を目にしたり、運が良ければ野うさぎやカモシカにも出合える。



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

4月

- 1日(木)
「溪流釣り解禁」
- 17日(土)
「河井継之助記念館オープン」
- 20日(火)
「会津只見考古館オープン」
- 24日(土)
「歳時記会館オープン」
- 25日(日)
「要害山トレッキング」

5月

- 1日(土)
「青少年旅行村・いこいの森 & 只見そば道場オープン」
- 1日(土)～5日(祝)
「風つこ会津只見号運行」
- 会津若松―只見(一日一往復)「
22、23日(土、日)
「SL会津只見新緑号運行」
- 会津若松―只見(一日一往復)「
六十里越雪わり街道のポストカード
(3枚1組)が完成しました。希望
者に窓口にてプレゼントしています。
(お一人様1組まで)」
- ▼只見駅の中において、青豆、黒豆、
小豆、打ち豆、もち米などを揃えて
販売しています。町民の皆さんも出
品してみませんか。詳しくは、お問
い合せてください。
- ▼問い合わせ
只見町観光まちづくり協会
☎ 0241-8215250

営業時間 午前8時半～午後6時